

公認会計士セミナー

年間合格者数 3,000 人を目標に金融庁が「2018 年までに公認会計士 5 万人構想」を発表してからというもの、会計士試験の合格者数・合格率はどんどん増えています。なぜ、そこまで会計士が必要とされているのか？それは、法定監査範囲の拡大、金融資本市場の国際的競争力強化など社会的ニーズが高まっているからです。公認会計士は会計・財務の世界で最高峰のステータスを持つとともに、財務諸表監査と呼ばれる独占業務を持つ資格です。監査業務という企業の社会的信用を支える重要な業務を行うのみならず、その高度な専門知識を駆使し、M&A など様々な分野でその能力を発揮することができます。「数字から判断できる力を持つ」ことがどれだけ必要とされているものなのかは、社会に出てから大きく実感することです。若いうちから監査等を通じて多くの企業の内部に触れることによって、企業を見る目も養われます。そのことによって、本当にやりたいことにも気付くかもしれません。会計士を目指すということは将来の選択肢をひろげること、会計士になるということはさらなる自分の可能性に気付くことができることだとも言えるでしょう。

今回のセミナーは、広島大学経済学部出身の 20 代の会計士試験合格者に、会計士の魅力などについて語っていただく予定です。ぜひ、ご参加ください。

日時	7月2日 木曜日 16:20~17:50
会場	法・経 155教室
対象	公認会計士資格に興味のある学部生・院生
講師	川本 和幸氏 (監査法人トーマツ勤務)

事前申込は不要です。当日直接会場にお越しください。